

MPETフォーマット

車評オリジナル テストコース概要



RX-7開発主査が 設定した 市街&高速 評価ステージ



●このページでは、我々MPETがクルマの評価を行なう際に使用しているテストコースを紹介しよう。我々が用いている評価路は都市高速をベースにしたものと、市街地を中心としたものの合計2つのコースである。

●公平を期するためにテスト日は定められた曜日と時間帯に行なうこととしており、交通量の増減による車両評価基準への影響を、可能な限り排除できるよう配慮している。

●また、クルマを5台同時に比較することにより、クルマごとの長所、短所が、明確になることも車評プロジェクトの大きな特色だ。

●そしてこのコースでの評価では完全満タン法で実測燃費を計測している。

●コースの設定は小早川隆治氏によるが、世界の道を数多くのクルマで走ってきたノウハウを活かし、数え切れない試走の後に決定されたものである。良路の連続とはとても言い難いコースであり、それは同時にユーザーの実際の使用条件に近いものである。

解説 三樹書房編集部

STAGE 1 市街地コース

渋滞から快速の郊外まで
日常使用域の確認を行なう

CHECK

坂道発進はスムーズか



写真のような勾配路もコースに含まれる。登坂能力そのものはもちろん、車速ゼロからの「坂道発進」のしやすさなども評価対象となる。新型オートマチックトランスミッション装着車の中には、ブレーキペダルからアクセルに踏みかえるわずかな時間で大きく後退してしまうモデルもあり、侮れないチェック項目だ。

CHECK

ストップ&ゴーの連続



短い間隔で信号が配置される、都心の一般的な通りがここ。ゼロ発進からの加速でギクシャクしないか、停止時のブレーキフィールはどうかなどをチェックする。

START

CHECK

速度の乗る郊外型道路



事実上のスピードも制限速度いっぱいまで伸ばすことが可能な、郊外型の道路。ただが時速数十キロまでの加速ではあるが、軽自動車などでは性能差が歴然と出るのだ。

市街地コース
全長：6.7km

CHECK

激しい凹凸の
都市型悪路



配管工事が頻繁に行なわれるため、採掘と埋め直しで激しい凹凸が形成された、いわば都市型悪路がここ。それでいて他車の流れに合わせると車速も乗るため、サスペンションの優劣が乗り心地評価に大きく影響してくる地点である。見た目優先で扁平タイヤを装着した(だけの)車両などではここで馬脚を現すことになる。

●まずは市街地コースから紹介しよう。このコースはストップ&ゴーの連続する都内中心部を基点に、上り坂や舗装悪路、速度の乗る郊外型道路などを組み合わせたものである。

●とりわけガスや水道の配管工事で採掘と埋め立てが繰り返された凹凸路部分は、クルマにとっては劣悪ともいえるもの。ここを気持ちよく通過できる車両は、かなり評価が高いといえる。

STAGE 2 都市高速コース

世界に冠たる高速悪路 日常使用条件の多くが評価可能

●続いて紹介するのは都市高速を使用した高速ステージである。首都圏を網羅するこの都市高速は、ほぼ全路線が高架となっているために路面の継ぎ目が多く存在。さらに車線幅がせまくエスケープゾーンもなく頻繁な合流、分流のために急なレーンチェンジが要求されたり、渋滞にはまったりと、クルマにとって世界でもまれにみる走りにくいコースとなっている。

CHECK

コース中最大の悪路

この都市高速コース中最大の悪路がここ。凹凸というレベルではなく、見た目にも波打っている路面。一般通行者からすれば一刻も早い改修を願うところだが、我々MPETにとっては願ってもないテストゾーンである。



CHECK

緩い登り勾配で加速性能を確認

見通しの良い直線だが、緩い登り勾配が続く。実用トルクの問われる領域だ。また、この区間は橋梁上でもあるため横風に対する安定性もチェックできる。

都市高速コース

全 長：17.8km

ジョイント数 約160カ所

道路のつなぎ目（ジョイント）数は、単なる段差ではなく、道路間にゴムまたは金属が収められているものを数えている。したがってコース上には約110mごとに1カ所ジョイントがある計算になる。

CHECK

見た目は良路だが、細かい凹凸あり



一見フラットに見える、比較的新しい舗装のこのパート。しかし実は細かな凹凸が延々と続いているのだ。連続した段差をシャシーがいかにいなし続けることができるかが焦点となる。

CHECK

合流加速

この合流地点では速度が乗ったところからの中間加速能力が確認できる。

CHECK

突発的に現れる悪路

何の前触れもなく突然やって来る、舗装の悪い路面。速度が乗った状態でシャシーがどういなるかを判断できる。

CHECK

ロードノイズが大きくなりがちな路面



都心部を突っ切るように走るこの路面は、舗装の質が悪く、ロードノイズが極端に大きくなるスポット。静粛性が判断できる。

CHECK

突然のトンネル

立体的な道路であるため、このように突然トンネルに入ること多い。その際でも、たとえば写真の車両などではメーターに自発光式が採用されているため見やすい、などの商品性が評価できる。



CHECK

路面の継ぎ目で乗り心地をチェック

この都市高速名物の大きな継ぎ目が連続するシーンがここ。一定速度での障害のいなし方をチェックする。



CHECK

緩いRを描くコーナーで追従性を見る



速度が乗った後は導線部をへて緩い左右のコーナーに入る。ここで直進性や操舵に対する追従性を見る。

CHECK

全開加速区間

パーキングを基点に、都市高速に乗り入れる。この地点では文字通り全開加速を試みる事が可能である。

START

CHECK

ブレーキング性能

テストコースのゴール地点直前ではブレーキ性能のチェックも行なえる。

CHECK

高速巡航性能

比較的良好な直線路が続くステージ。一定速度で巡航している際のエンジン回転数や車内騒音などを確かめることが可能だ。

